

たてあなたてもものあと
多数の竪穴建物跡を検出！（江原遺跡第5次調査）
えはらいせきだい じちょうさ

令和3年12月9日（木）～12月27日（月）までの間、江原遺跡の第5次発掘調査を行いました。



調査区全景



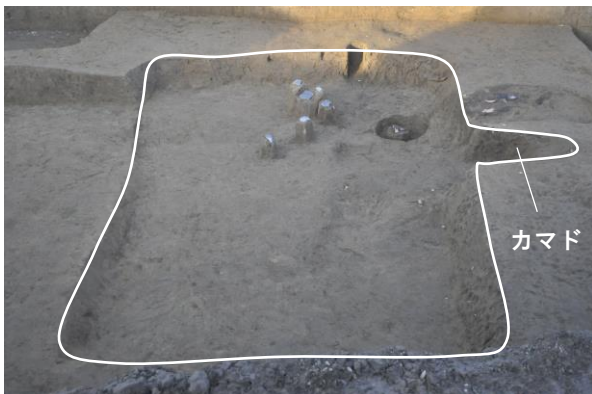
発掘調査の様子

江原遺跡は、深谷市江原に所在する遺跡です。過去の調査では奈良・平安時代の竪穴建物や井戸跡、掘立柱建物跡などが確認されています。

今回の調査では、竪穴建物跡が7軒、土坑が5基、ピットが1基が発見されました。

遺構は複数重なりあっており、調査地は建物が密集した集落跡であったと考えられます。

最も残りの良い第1号竪穴建物跡は東側にカマドが設けられており、その周辺部から土師器や須恵器などが集中して出土しました。



第1号竪穴建物跡



第1号竪穴建物跡 須恵器出土状況